

令和元年度  
静岡市政策・施策評価委員会の  
進め方について

令和2年 1月9日(木)  
静岡市 総務局 総務課

# 1 第3期政策・施策評価委員会の概要

## 1 実施時期

令和元年12月～令和2年2月 の間で4回程度開催予定

## 2 評価手法

政策・施策の質の向上に向け、市民との対話（ワークショップ）を通じ計画、実施、成果を包括的に評価する協働型プログラム評価により実施

## 3 評価対象

重点プロジェクト 3プロジェクト

## 4 委員構成

- (1) 民間有識者 3人（1人×3プロジェクト）
- (2) 協働サポーター 6人（2人×3プロジェクト）
- (3) 大学教授等の有識者 4人（1人×3プロジェクト、総活役1名）  
※ファシリテーター役

## 5 委員選定の視点

### 学識経験者

政策評価やロジックツリー等に精通し、ファシリテーターとなる

### 民間有識者

本市を取り巻く状況についても理解が深く、広い視点で柔軟に考えることができる **※評価対象に合わせて選定**

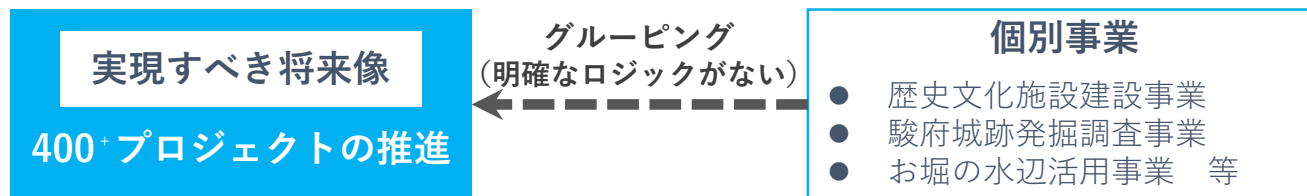
### 協働市民サポーター

評価対象となるプロジェクトの分野でプレーヤーとして参画しており、市民の視点から建設的な議論ができる

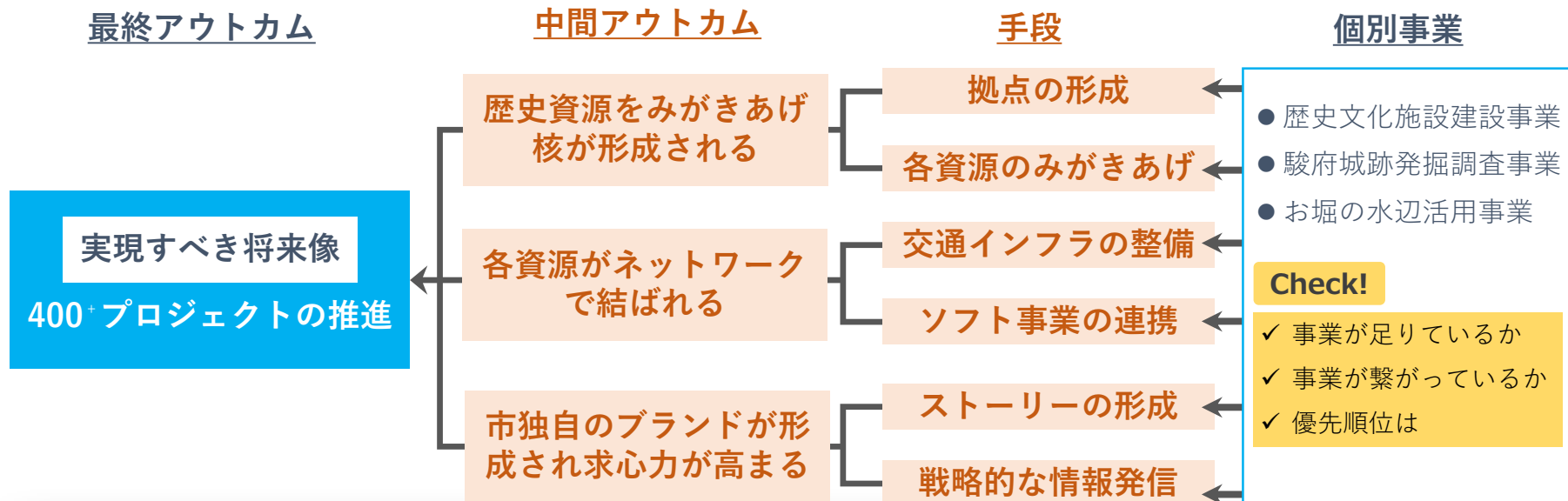
**※評価対象に合わせて選定**

## 2 評価のイメージ

**現在** 重点プロジェクト：実現すべき将来像に向けた事業群となっている



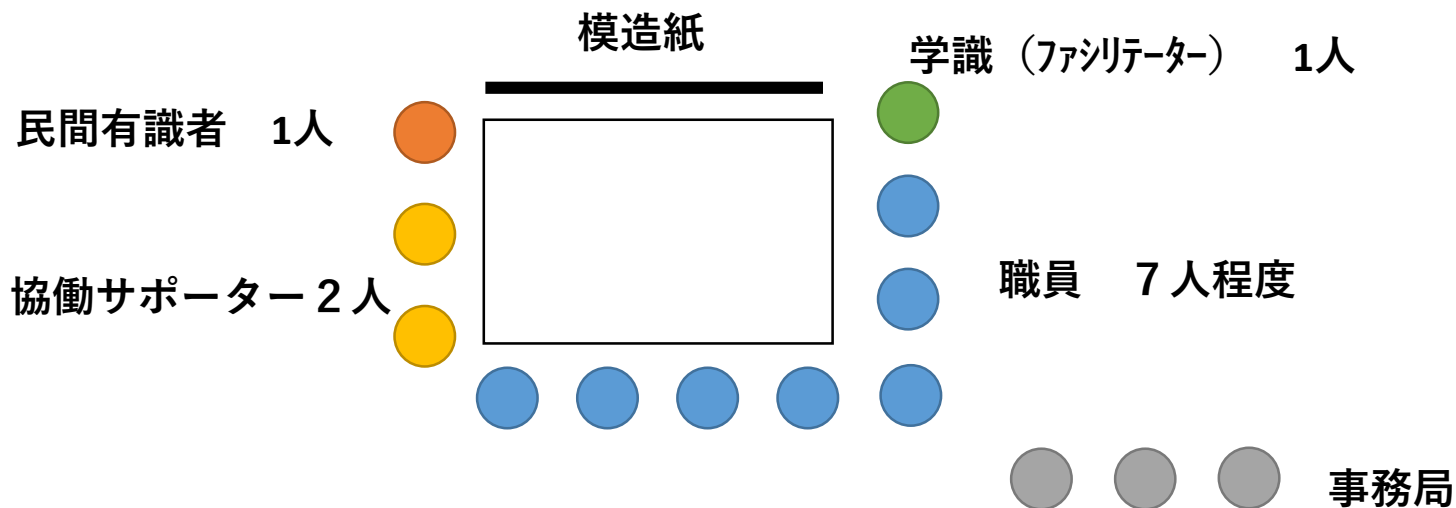
**見直し後** ロジックツリーを活用し、目的-手段の関係に整理する



目指すべき姿からバックキャストिंगで考えることで、新たな気づきを得る



### 3 評価の進め方の詳細について



#### ○実施方法

- ・ 評価はワークショップ形式で実施
- ・ 実施回数は1プロジェクト当たり1回で、3時間～3時間半程度を想定
- ・ 評価に当たっては、参考資料として搭載事業の事業概要を用意

#### ○ワークショップの進め方

- (1) 自己紹介
- (2) 最終アウトカム (目指す姿) の共有化
- (3) 実現に向けた中間アウトカムの検討
- (4) 中間アウトカムの実現に向けた手段の検討
- (5) 作成したアウトカム・手段と既存事業を比較し改善に向けたポイントについて議論

## 4 今後のスケジュール

段階	時期	活動内容	具体的な活動
① 事前準備	12月26日（木）	所管課向け説明会	・評価の進め方について説明
	1/9 10:15~12:00 (2h)	委員委嘱	・委嘱状の交付、今後の進め方について
		事前学習	・協働型評価の狙いや進め方について
② 評価	1/24 AM共生 2/5 PM中樞 2/12PM防災 (3h程度)	中間アウトカムの設定	市が提示した最終アウトカムをスタート地点とし、最終アウトカムを達成するための中間アウトカムを議論し、新たに設定する。
		手段の設定	設定した中間アウトカムをベースに双方の立場から有効だと考える手段について議論し、新たに設定する。
		改善ポイントの指摘	策定した手段を踏まえ現在の構成事業を見直し、次年度以降の改善に向けたポイントについて議論する。
	3月上旬 (1h)	報告会	・評価結果について、所管局を対象に報告する
③ 改善	3月中	来年度要求に向けた検討	各所管課が、評価結果を踏まえ、来年度の総合計画事業要求の方向性について検討